



● 少しずつハマユウ咲く浜辺を取り戻してきた恋路ヶ浜

投稿 取り戻そう！ハマユウ咲く浜辺

市民発！ ハマユウの植栽活動

渥美青年経済研究会

皆さんこんにちは。私たち渥美青年経済研究会（青研）は郷土の産業発展に役立つと、42年前に設立した団体です。今回は、その活動の一環として行っている、ハマユウの植栽についてご紹介します。



ハマユウ咲く浜辺を目指して

私たち青研がハマユウの植栽を始めたのは、24年前のことです。その昔は、ハマユウの群生地だったという恋路ヶ浜。その美しかったハマユウの群生は、いつしか乱獲などにより、ほとんど見られなくなっていました。当時の青研会員が、ハマユウ咲く美しい風景を取り戻そうと植栽活動を始めたのだと先輩方から聞きました。活動を始めるにあたり、宮崎県でハマユウの植栽活動を行っていた団体に、学びにも行つたそうです。今では、恋路ヶ浜だけでなく白谷海岸でも植栽を行うなど、市内のさまざまな海岸で活動を行うようになっていきました。

次世代へ残したい郷土の財産

今年は、4月12日（火）に、恋路ヶ浜でハマユウの植栽を行いました。伊良湖小学校の4〜



▲ 苗を植えた子どもたちと青研会員ら

今年度は、伊良湖小学校で、子どもたちにハマユウの苗を育ててもらおうと計画しています。そして、自分たちが育てた苗を植え、いつの日か立派に花を咲かせ、岬を美しく彩る郷土の風景に、誇りと愛着を持ってもらえたらと願っています。

6年生の児童17名と青研会員40名で、海岸清掃をした後に200株の苗を植えました。
ハマユウ咲く海辺の風景は、郷土の財産です。



● 苗の植え方の説明を真剣に聞いています



● ハマユウの苗を植える子どもたち